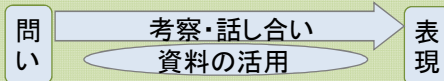


新必修科目「歴史総合(仮称)」

- 現代的な諸課題の背景にある歴史を、グローバル化につながる近現代の歴史の転換に着目して追究する。
- ◎単元の基軸となる本質的で大きな問いを設け、諸資料を適切に活用しながら、比較や因果関係を追究するなど歴史的な見方や考え方をを用いて考察する「歴史の学び方」を身に付ける。



現行科目「世界史B」

- (1)扉
- (2)形成
- (3)交流と再編
- (4)結合と変容
- (5)地球世界の到来

現行科目「日本史B」

- (1)原始・古代
- (2)中世
- (3)近世
- (4)近代
- (5)両大戦期
- (6)現代

◎「歴史総合(仮称)」で習得した「歴史の学び方」を活用する

新選択科目(案)  
(世界史に関わる探究科目)

- 諸地域世界の歴史の大きな枠組と展開を広く深く考察する。
- 前近代では、
  - ・「歴史総合(仮称)」で育んだ技能を生かして、諸資料を活用して歴史を考察し表現する。
  - ・近現代につながる諸地域世界の文化の多様性や複合性を時間軸(タテ)と空間軸(ヨコ)の変化に着目して理解する。
- 近現代では、
  - ・諸地域世界の歴史の相互依存性や多元性に着目して、諸資料を活用し、広い視野から考察し表現する学習を通して、現代につながる諸課題を多面的・多角的、歴史的に追究、探究する。
  - ・「歴史総合(仮称)」で獲得した概念に加え、さらに考察を深めるために必要な歴史的な概念を習得する。

新選択科目(案)  
(日本史に関わる探究科目)

- 我が国の歴史の展開を広く深く総合的に考察する。
- 前近代では、
  - ・「歴史総合(仮称)」で育んだ技能をより一層高め、諸資料を活用して歴史を考察し表現する。
  - ・各時代における重要な概念を習得するとともに、現代につながる我が国の伝統や文化の特色を理解する。
- 近現代では、
  - ・我が国の歴史にかかわる様々な分野から具体的な事柄を取り上げ、自ら課題を設定し多様な資料を活用して歴史を解釈するなどの学習を重視して、現代につながる諸課題を多面的・多角的、歴史的に追究、探究する。
  - ・「歴史総合(仮称)」で獲得した概念に加え、前近代の学習で育成した資料に基づいて歴史を考察し表現する力を活用して、さらに考察を深めるために必要な歴史的な概念を習得する。

※ 歴史用語の在り方について、研究者と教員との対話を通じて、歴史を考察する手立てに着目するなどして構造化を図る。